県職交渉（時間外交渉）概要

- 1 日 時 令和7年5月16日（金）
- 2 場 所 北館201会議室
- 3 出席者 【当局】行政経営部長、人事課長外
【組合】委員長、副委員長、書記長外
- 4 議 題 基本認識、産業医面談、時間外縮減の取組

項 目	組 合 主 張	当 局 回 答
基本認識	<p>○36協定に関して、労働基準法の認識を確認したい。</p> <p>○36協定の意義は、全庁で共有されているのか。</p>	<p>○労働基準法で1日8時間、週40時間を超えて勤務させてはならず、臨時的にやむを得ない場合に36協定の範囲内で時間外命令ができるということになっている。</p> <p>○機会あるごとに共有しているし、これからも徹底していく。</p>
産業医面談	<p>○産業医面談の必要性や重みは認識しているか。</p> <p>○産業医から指導や助言があった場合、所属長はその報告を受けて配慮できているのか。</p>	<p>○時間外勤務が多くなった場合に健康を害していないか確認するものとして非常に重要なものと認識している。</p> <p>○事務軽減や休暇の声掛け、場合によっては受診を勧める等、助言を踏まえた対応を行っている。</p>
時間外縮減の取組	<p>○何のために縮減に取り組むのか。</p> <p>○昨年度の対策についての分析・受け止めは。</p> <p>○時間外が減ったと実感できる職場にしてくれ。今後どう取り組むのか。</p>	<p>○県民サービスを行う上で職員が健康であることが必要であり、そのためにも縮減に取り組む必要があると思っている。</p> <p>○改めて事前命令の徹底を図り、一斉消灯の実施方法柔軟化に取り組んだところ。一定の効果はあったものと考えている。</p> <p>○デジタル技術も活用して業務の効率化に取り組んでいきたい。</p>